

第39回新潟県高等学校総合文化祭・放送部門

第38回新潟県高等学校放送コンクール

第45回QK杯校内放送コンクール

第22回北信越高等学校選抜放送大会・富山大会 新潟県代表選考会

第50回全国高等学校総合文化祭・秋田大会放送部門 新潟県代表選考会

実 施 要 項（公開版）

主 催 新潟県高等学校文化連盟 NHK新潟放送局（JOQK）
共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会
主 管 新潟県高等学校文化連盟放送専門部
当番校 新潟明訓高等学校

1 日時 令和7年 1 1 月 9 日（日） 9:00 ～ 17:00

2 会場 新潟明訓高等学校
〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地
TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

3 日程（予定…エントリー数により変更することがあります。）

9:00～9:30	10:00	10:10	11:00	11:30	12:30	14:00	15:00	15:40	16:30退校
全部門受付	打ち合せ	諸連絡	ラジオ番組部門	アナウンス部門	昼休み	朗読部門	テレビ番組部門	交流会	講評 表彰・閉会式 諸連絡

→9:35～審査員打ち合せ

→9:45～顧問打ち合せ

→受付時にアナウンス&朗読の課題配布

※受付時に、プログラムに記載されている学校名・氏名・作品名などに誤りが無いか、

必ず確認をしてください。誤りがあれば受付または昼休みまでに本部に申し出てください。

4 実施部門および参加資格

(1) アナウンス部門・朗読部門

アナウンスは、原則として郷土の話題を高校生に伝える内容の校内放送原稿を作成し発表します。朗読は、指定された作品を選び、発表します。両部門へ同時エントリーはできません。

当日、課題原稿が提示されるので、自作原稿に続いて読んでください。

出場資格は、新潟県内の高等学校の1,2年生（中等教育学校の4,5年生）であることです。参加校ごとの人数制限はありません。

なお本選に先立ち、録音媒体提出による予選を実施します。

(2) ラジオ番組部門・テレビ番組部門

ラジオ番組・テレビ番組は、原則として郷土の話題を高校生に伝える内容の校内放送用作品を制作して発表します。出場資格は新潟県内の高等学校の1,2年生（中等教育学校の4,5年生）が制作する作品であることです。各部門とも1校2作品までです。

5 参加申込方法

(1) 参加申込書を県高文連HPの放送専門部リンク <http://www.kobunren.jp/housou/> からダウンロードし、必要事項を入力の上Eメールにファイル添付して送信してください。

※この申し込みの時点で、参加料が確定します。

(2) 更にファイルを印刷し、次のいずれかの方法で、大会当日迄に提出してください。

※校長印は不要ですが、必ず校内での出場のための手続きを行ってください。

①アナウンス・朗読原稿送付の時に同梱

②大会当日に受付にて提出

※送信先・問合せ先（大会主管担当）

a-umeda@niigata-meikun.ed.jp

（新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛）

送信締め切り日 令和7年10月27日（月）必着

6 提出するもの

(1) アナウンス・朗読部門

①原稿（1人につき7部） ※詳細は別紙「作品制作規定」を参照

1名につき、規定のA4袋とし（仕上がりA5製本）で作成してください。（コピーで増刷可）

②予選審査用の音声データ ※詳細は別紙「作品制作規定」を参照

各部門とも、1名につき1ファイルで作成し提出してください。

ストレージサービスやファイル転送サービス利用して提出してください。メモリーによる郵送または持参での提出も可能です。USBメモリーまたはフルサイズのSDカードに保存（複数の部門の音声データの保存可）して①と同梱にて提出してください。メモリーは返却します。

バックアップとして任意でCD-Rの提出も可能です。

③予選結果・講評・SDカード等の返送用封筒〔返信先記載・切手貼付済のもの〕

返送する講評用紙の量も多いので「レターパック」をお勧めします。（「レターパックライト」可）

④提出先・問合せ先（大会主管担当）

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

提出締め切り日 令和7年10月29日（水）消印有効・または直接持参可

(2) ラジオ番組・テレビ番組部門

①番組作品データ ※詳細は別紙「作品制作規定」を参照

各部門とも1作品につき1ファイルで作成してください。

②番組進行表・CUEシート等(1作品につき2部) ※詳細は別紙「作品制作規定」を参照

規定のA4プリントで、折らずに左上綴じにします。

番組における著作権処理は、制作校の責任において行ってください。

●楽曲著作権は「JASRAC等の手続書」

●写真、資料等の著作隣接権は「関係各所の許諾書」

をそれぞれにとってコピーを最後に綴じ込んでください。

原稿様式は「NHK杯全国高校放送コンテスト」に準じてください。※様式2-2は省略可

③提出方法

USBメモリーまたはフルサイズのSDカードに保存して(複数部門作品保存可)提出してください。

バックアップとして任意でCD-R、DVD-RまたはBD-Rを提出することを推奨します。

事前提出は、ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出してください。メモリーによる郵送または持参での提出も可能です。

④提出先・問合せ先(大会主管担当)

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

提出締め切り

大会当日に持参可能です(11月9日・9:30までに受付提出)

事前提出は、令和7年10月29日(水)から11月5日(水)16:00までに提出

※大会当日の受付時でも提出が可能ですが、当日提出の締め切りは9:30です。

提出に間に合わない、バックアップディスクも含め再生不能となった場合は失格です。

※大会申込後の作品タイトルの変更は11月2日(日)までに当番校へお知らせください。

以後、申込と大会当日のタイトルに差異があった場合は、失格もしくは減点の対象となります。

※事前提出後の、作品の再提出は原則としてできません。

7 アナウンス・朗読部門の予選審査

①本選前に、予選審査を11月2日(日)に非公開で実施いたします。

②予選通過者が本選の出場資格者となります。

③審査結果と講評用紙とSDカード等を郵送返却します。HP又はE-mailでもお知らせします。

④予選通過者は、両部門ともそれぞれ40名程度の見込みです。

⑤11月5日(水)までに結果が届かない場合は、担当の新潟明訓高校の梅田にご連絡ください。

8 参加料

(1) 以下の参加料を、下記の口座に**10月29日(水)までに**振り込んでください
(振込手数料は各校負担)

参加料

- | | | |
|--------------|--------|--------|
| ①アナウンス・朗読部門 | 1名につき | 1,000円 |
| ②ラジオ・テレビ番組部門 | 1作品につき | 2,000円 |

参加料送金先

【銀行名】 ゆうちょ銀行 【店名】 一ニ八（イチニハチ） 【店番】 128
【預金種目】 普通預金 【口座番号】 2923593
(郵便振替の場合 記号：11220 番号：29235931)
【口座名義】 高文連放送専門部（コウブンレンハウソウセンモンブ）

(2) 参加費は、10月27日（月）までに参加申し込みをされた人数・作品数で徴収します。
出場辞退及び予選不通過の場合でも納入していただきますことをご了承ください。

9 朗読部門指定作品

1. 「公園通りのクロエ」 野中 柊（祥伝社文庫）
2. 「世阿弥最後の花」 藤沢 周（河出文庫）
3. 新潟県にかかわりのある作家・作品から選んだもの（出版社は問わない）
3の場合、昨年の指定作品及び、出場者が以前に参加した大会で扱った作品は除外してください。
新潟県との関わりの説明を、提出原稿表紙の指定欄に簡単に記入してください。

※書店などで一般的に流通しているものとします。電子書籍は不可とします。

※朗読で使用する書籍は、大会の使用に関して著作権の手続きは必要ありません。

※著作者・出版社の権利を保護し、文化・芸術の発展に寄与するためにも、書籍の積極的な購入をお願いします。

[参考：昨年度の指定作品]

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) 「縄文の思考」 | 小林達雄（ちくま新書） |
| (2) 「図書館のバシラドル」 | 竹内 誠（双葉社） |

10 表彰

【入賞】

入賞は各部門とも、今年4月1日現在で新潟県高等学校文化連盟に加盟している学校の生徒・作品を対象とし、

- NHK新潟放送局から 1位～3位を入賞として表彰。
- 新潟県高等学校文化連盟から 1位～3位を入賞として表彰し、加えて
アナウンス・朗読部門の各3名に奨励賞を入賞として表彰。
テレビ番組部門の1作品に奨励賞を入賞として表彰します。

【その他】

連盟への加盟に関わらず、各部門に放送専門部による審査員特別賞を、若干数表彰する場合があります。

11 選考による上位大会推薦枠と手続きについて

【推薦枠・推薦方法】

上位大会へは今年4月1日現在で新潟県高等学校文化連盟に加盟している学校から推薦します。

1. 第50回（令和8年度）全国高等学校総合文化祭・秋田大会の放送部門「新潟県代表」に、入賞者、入賞校の中から下記の通り推薦します。

（令和8年7月29日（水）～30日（木）実施）

全	アナウンス部門……………3名
国	朗 読 部 門……………3名
総	オーディオメッセージ部門…………ラジオ番組部門制作校より1校
文	ビデオメッセージ部門…………テレビ番組部門制作校より2校

2. 第22回（令和7年度）北信越高等学校選抜放送大会・富山大会の「新潟県代表」に、入賞者、入賞校の中から下記の通り推薦します。

（令和8年2月7日（土）～8日（日）実施）

北	アナウンス部門……………6名
信	朗 読 部 門……………6名
越	オーディオメッセージ部門…………ラジオ番組部門制作校より2校
	ビデオメッセージ部門…………テレビ番組部門制作校より4校

【上位大会出場推薦の意思表示と出場辞退について】

1. 原則として、当大会出場者の上位入賞者を北信越大会及び全国大会に推薦します。
2. 推薦された方・学校は、上位大会出場の権利を得るとともに、上位大会出場の義務も生じることをご承知ください。
3. 上位大会推薦後に出場を辞退する場合は、以下の期日までに放送専門部委員長・高澤晃（中越高校）へ、当該校の顧問から直接電話で申し出てください。

（ア）北信越大会の辞退：令和7年11月14日（金）午後3時まで

（イ）全国大会の辞退：令和7年11月14日（金）午後3時まで

※これ以降の辞退は、県高文連事務局の事務作業に支障を来し、欠員の補充ができなくなる場合があります。上位大会出場の県内枠が無駄になるとともに、上位大会の開催県に迷惑をかけることとなります。御理解と御協力のほど、お願い致します。

4. 全国総文の手続き手順と日程について（予定）

- | | | | | |
|----------|------------|---|----------|-------------|
| ①放送専門部 | 「全国総文推薦」提出 | → | 県高文連事務局へ | 11月17日(月)締切 |
| ②県高文連事務局 | 「参加推薦」連絡 | → | 参加校へ | 12月5日(金)迄に |
| ③参加校 | 「参加承諾」提出 | → | 県高文連事務局へ | 1月15日(木)締切 |

12 上位大会について

(ア) 第22回北信越高等学校選抜放送大会・富山大会について

- ①期 日：令和8（2026）年2月7日（土）～8日（日） ※1泊2日
- ②会 場：「[富山県高岡文化ホール](#)」 〒933-0055 富山県高岡市中川園町 13-1
- ③大会宿舎：「高岡駅周辺ホテル（未定）」
- ④その他：新潟県選手団として貸切バスで移動・宿泊の予定 費用概算¥30,000 程度

(イ) [第50回全国高等学校総合文化祭・秋田大会](#)について

- ①期 日：令和8年（2026）7月29日（水）～30日（木） ※7月28日出発・7月31日帰着
- ②会 場：「[大仙市大曲交流センター](#)」 〒014-0063 秋田県大仙市大曲日の出町 2-7-53
- ③大会宿舎：「[リバーサイドホテル大曲](#)」 〒014-0024 秋田県大仙市大曲中通町 2-20
- ④その他：新潟県選手団として貸切バスで移動・宿泊の予定
費用3泊（朝食込み）及び往復交通費計予定 ¥65,000 程度

13 北信越大会出場者特別講習会

アナウンス部門・朗読部門の入賞者は、以下の日程の特別講習会への参加もご予定ください。

日時：12月14日（日） ※予定

会場：新潟県立新潟高等学校

詳細は後日お知らせいたします。

14 別紙資料

- ①第45回QK杯校内放送コンクール作品制作規定 (P. 7～10)
- ②QK杯校内放送コンクール各部門の審査基準 (P. 11～13)
- ③添付書類
 - (ア) QK杯参加申込用紙・記入例 (P. 14～15)
 - (イ) QK杯アナウンス・朗読部門原稿用紙 (P. 16)
 - (ウ) 感染症拡大防止による大会の実施について (P. 17)
 - (エ) コンクールでの個人情報の取り扱いについて (P. 18)
 - (オ) 生徒交流会「外郎合戦・ケーブル巻合戦」について (P. 19)

以上

第45回QK杯校内放送コンクール作品制作規定

1. アナウンス部門

(1)原則として、郷土（新潟県）の話題を高校生に伝える内容の自作原稿とし、学校名・氏名も含めて1分30秒以内でアナウンスします。

＊来年度全国高校総合文化祭のテーマに沿いました。

- ・静止画像の投映はありません。
- ・効果音、BGMは、使用できません。

(2)当日、課題原稿が提示されるので、自作原稿に続いてアナウンスしてください。

(3)予選審査用に録音データを提出してください。

①ファイル名には「学校名・部門名・番号・出場者名」を記載してください。

②「番号」は参加申込書に記載した「予選録音順番」とし、録音ではエントリー番号の代わりに、この番号を読んでください。

2. 朗読部門

(1)指定作品（3作品）の中から1作品を選び、本文を1分45秒以内で朗読します。計時には含めませんが、本文の前に学校名・氏名・著者名・作品名も読んでください。

(2)原作文の脚色・変更は認めず、原文通り抽出し、文頭から開始して文末で終了させます。なお、本文中の（ ）内は読み、読み仮名は読みません。

(3)当日、課題原稿が提示されるので、各自の原稿に続いて朗読してください。

(4)効果音、BGMは、使用できません。

(5)予選審査用の録音データは、アナウンス部門の（3）と同様です。

3. アナウンス・朗読部門の、提出原稿の作り方

アナウンス・朗読部門は、指定された用紙を使用してください。

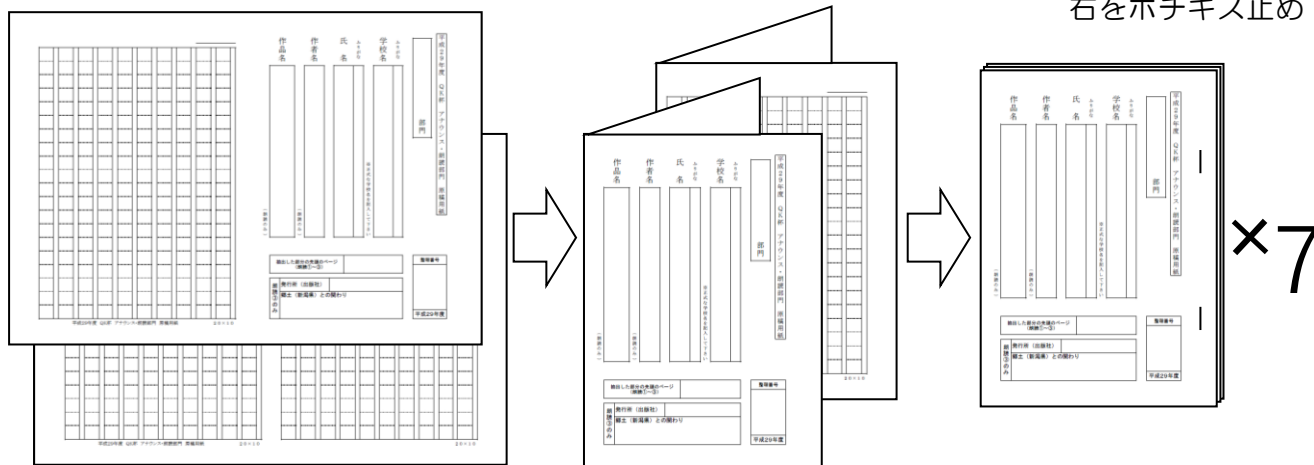
（県高文連放送専門部のHPからダウンロードできます。）

①各、A4サイズで印刷・作成

②各、二つ折り

③袋綴じて

右をホチキス止め



※コピーするなどして、1人の出場者につき7部ずつ作成・提出してください。

4. アナウンス・朗読部門の音声データ規格

- ①WAV形式やMP3形式で、出場者ごとにファイルを作って提出してください。
- ②録音の際は、高音質での録音をしてください。
 - (ア) ICレコーダーなどの録音形式を、高ビットレートによる高音質で録音してください。
 - (イ) なるべく周囲の音が入らないように気を付けて録音してください。
 - (ウ) 音声の前後に、5秒程度の無音を入れてください。
- ③ファイル名は「学校名_部門と番号_氏名」としてください。

例：越後高等学校 アナウンス 1番 百田川夏菜子 の場合、
越後高校_アナ01_百田川夏菜子.wav としてください。

(高校名+「アガバ-」(半角)+部門+番号(半角2桁)+「アガバ-」+氏名.(ドット)+wav)
- ④ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出してください。
- ⑤メモリーによる提出も可能です。USBメモリーまたはフルサイズのSDカードに保存（複数の部門の作品の保存可）して提出してください。
- ⑥バックアップとして、オーディオCD-R（CD／DA形式）を提出することができます。
- ⑦提出されたメモリー・ディスクなどは返却されます。

【データ提出のイメージ】	
	・ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出することができます。URLなどのダウンロード情報を、当番校に連絡してください。
	・USBメモリーまたはフルサイズのSDカードに保存（複数の部門の音声データの保存可）して提出することができます。 ・SDカードはケースに入れ、 <u>カードとケースには学校名を記載</u> してください。 ・USBメモリーには学校名を記載してください。
	・バックアップとして任意でディスクを提出することができます。 ・データ形式ではなく、音楽CD（CD／DA）形式で作成してください。 ・データや原稿の提出と同時に提出してください。

5. ラジオ番組部門

- (1)原則として郷土に関する話題を全国の高校生に伝えるオリジナル作品とし、内容・手法は自由です。
- (2)規格は、次のとおりとします。
 - ①番組の時間は**4分**以内とし、WAV形式やMP3形式で作成したデータを提出します。1つの作品で1つのファイルとしてください。
 - ②デジタル静止画像の使用はありません。
 - ③音声レベルは、**-6db**を基準として作成してください。

基準音ファイルを放送専門部ホームページからダウンロード可能です。
 - ④本編の前後に 5 秒間の無音部分を作成してください。無音部分は制作時間に含まれません。
 - ⑤本編の最後に「…制作は〇〇高等学校放送部（研究会、委員会等）でした。」と、音声でクレジットコールを入れてください。
 - ⑥計時（尺）は、はじめの音声開始から計り、クレジットコールのおわりまでとします。
 - ⑦クレジットコールに、BGM や番組の音声などが被らないようにしてください。

6. テレビ番組部門

- (1)原則として郷土に関する話題を全国の高校生に伝えるオリジナル作品とし、内容・手法は自由です。
(2)規格は、次のとおりとします。

- ①番組の時間は4分30秒以内とし、H.264形式やMpeg2形式など高品質画像で作成したデータを提出します。1つの作品で1つのファイルとしてください。
- ②画面サイズはFHD（解像度1920×1080）以内とし、アスペクト比は「16：9」です。
- ③音声レベルは、-6dbを基準として作成してください。
基準音ファイルを放送専門部ホームページからダウンロード可能です。
- ④本編の前後に各5秒間の静止画によるテストパターンを録画します。（形式は自由）
- ⑤本編の最後に学校名を文字で明記したエンドクレジットのテロップを入れてください。
- ⑥計時（R）は、初めのテストパターン終了から計り、終りのテストパターン開始までとします。
- ⑦作品とテストパターンの間にトランジッションなどの動きのある部分を設けないでください。

7. ラジオ番組・テレビ番組部門の様式

【番組部門の進行表・CUEシート等の作り方】

番組部門の進行表・CUEシート等は、NHK杯全国高校放送コンテスト要項に準拠します。

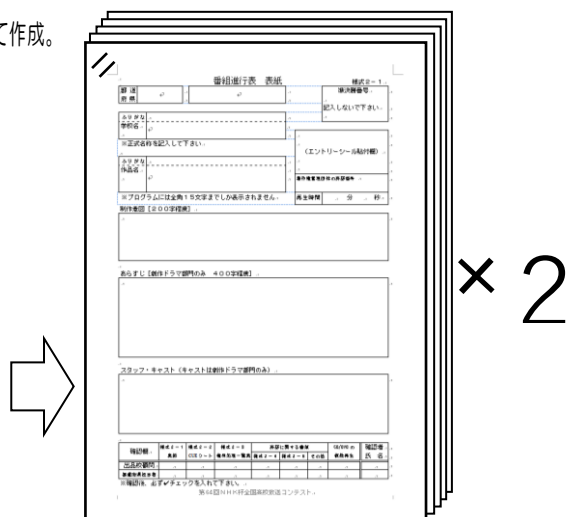
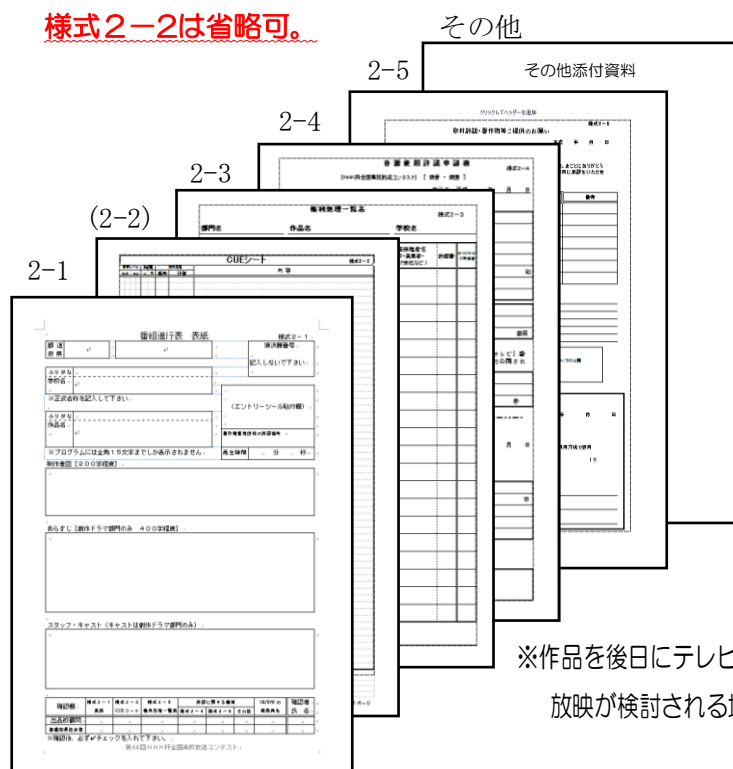
（放送教育ネットワーク・NHK杯全国高校放送コンテストのホームページよりダウンロードできます。）

- ①様式2-1～2-5各、A4サイズで印刷・作成

- ②用紙の左上をホチキス止め

※様式2-1・2-3は必須。2-4・2-5及びその他は必要に応じて作成。

様式2-2は省略可。



※コピーして、1作品につき
2部ずつ作成・提出してください。

※作品を後日にテレビやラジオで放映する可能性があります。

放映が検討される場合、様式2-2を提出していただく場合があります。

8. ラジオ番組・テレビ番組部門の提出方法

(1) ファイル名は「学校名_部門と番号_作品タイトル」としてください。

例：越後高等学校 テレビ 1番 弥彦山の頂上を目指せ の場合

越後高校_テレビ01_弥彦山の頂上を目指せ.mp4 としてください。

(高校名+「アガバー」(半角)+部門+番号(半角2桁)+「アガバー」+タイトル.(ドット)+mp4)

※番号は参加申込書の「番号」です。

(2) バックアップ用ディスクの提出について

バックアップ用として、ディスクの提出を推奨します。提出する場合は、市販の家庭用プレイヤーを使っての再生確認を行ってください。

① ラジオ番組部門では、CD-Rを使用してください。データ形式ではなく、オーディオCD（CD/D A形式）としてください。

② テレビ番組部門では、DVD-RまたはBD-Rを使用してください。DVD-Rの場合は、DVD-VIDEO形式などプレイヤーで再生可能な形式としファイナライズ処理をしてください。

(3) 提出方法について

① 事前提出は、郵送・持参のほかストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出してください。

② 大会当日の提出は、USBメモリーまたはフルサイズのSDカードに保存（複数の部門の作品の保存可）して提出してください。

③ 大会当日の受付時でも提出が可能です。当日提出の締め切りは9:30です。提出に間に合わない、データおよびバックアップディスクで再生不能となった場合は失格です。

④ 提出されたメモリー・ディスクなどは返却されます。

【データ提出のイメージ】	
	・ストレージサービスやファイル転送サービスを利用して提出することができます。URLなどのダウンロード情報を、当番校に連絡してください。
	・USBメモリーまたはフルサイズのSDカードに保存（複数の部門の作品の保存可）して提出することができます。 ・SDカードはケースに入れ、 <u>カードとケースには学校名を記載</u> してください。 ・USBメモリーには学校名を記載してください。
	・ディスクをバックアップ用として提出することを推奨します。 ・データ形式ではなく、プレイヤーで再生可能なCD/DA・DVD-VIDEO形式の形式で作成してください。 ・データの提出と同時か、大会当日に受付で提出してください。

第45回QK杯校内放送コンクール 各部門の審査基準

1. アナウンス部門

- (1) 原則として郷土の話題を全国の高校生に伝える内容であること。当日渡された課題原稿を適切に伝える。
- (2) 審査の視点
 - a. 内容
 - (ア) 素材の選び方は適当であるか。
 - (イ) 文章表現は適当であるか。
 - b. アナウンスの技術
 - (ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか。
 - ・発声・発音・マイクの使い方
 - (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。
 - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
 - (ウ) 間（ポーズ）は適切か
 - ・テンポ・ポーズ
- (3) 採点は100点法とし、(2) a、b、に留意し、課題原稿を含め総合的に採点する。
- (4) 審査の留意事項
 - ・自然な語りかけで、伝達力・説得力のあるアナウンスを高く評価する。
 - ・基礎的・基本的事項に不備があるものには高い評価をしない。
(特に鼻濁音、無声化、語尾ののび、イントネーション（始高終低）等について)
 - ・元気があり明るく演示するものは良いが、歌い上げ・作り声のものを高く評価しない。

2. 朗読部門

- (1) 指定作品の中から1編を選び、自己の表現したい部分を抽出のうえ、規定時間内で読む。作品の脚色は認めない。当日渡された課題原稿を適切に伝える。
- (2) 審査の視点
 - a. 内容
 - (ア) 作品の選定は適しているか。
 - (イ) 朗読として適切な部分を選定しているか。
 - b. 朗読の技術
 - (ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。
 - ・発声・発音・マイクの使い方
 - (イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができているか。
 - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント
 - (ウ) 間（ポーズ）は適切か
 - ・テンポ・ポーズ
- (3) 採点は100点法とし、(2) a、b、に留意し、課題原稿を含め総合的に採点する。

(4) 審査の留意事項

- ・ 自然で深みのある朗読を高く評価する。
- ・ 基本的事項に不備があるものには高い評価をしない。
(特に鼻濁音、無声化、語尾ののび、イントネーション(始高終低)等について)
- ・ 作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
- ・ 過度のラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調のものを高く評価しない。

3. 読みの部門の点数の目安

(ア) 審査員の点数の目安は、以下の基準で行う。

点数	レベル	ランク
90点以上	プロレベル	プラチナ
80～89点	全国大会入賞レベル	金
70～79点	全国大会出場レベル	銀
60～69点	全国大会出場予備軍	銅
50～59点	校内放送実戦レベル	—
40～49点	校内放送練習レベル	—
39点以下	基礎力養成レベル	—

(イ) 審査終了後、参加者にランクを伝える。(点数は伝えない)

(ウ) 審査終了後、失格も伝える

4. 読みの分野の規定違反について

- (ア) アナウンス・朗読部門の規定時間超過(計時の2人共が、2秒以上超過は失格)
- (イ) 不適切な表現(差別的な表現、商品名の連呼、残酷な表現等)について(20点の減点)
- (ウ) 作品、ニュース内容の根幹に関わるような大きな読み違い(20点の減点)
- (エ) その他、様式違反、読み違い等は注意事項とする。

5. 番組部門

(1) 内容について

原則として、郷土に関する話題を全国の高校生に伝えるオリジナル作品とし、内容・手法は自由。ラジオ・テレビの特性を生かして作品に表現していること。内容、手法は自由とする。

(2) 審査の視点について

(ア) テーマ

- ・原則として郷土に関する話題を取り上げた作品であること

(イ) 制作技術：制作の手法、取材の方法や努力、企画構成、演出・編集、技術（録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など）

(3) 採点と順位について

- ・テーマに沿っていない場合は全国大会へは推薦しない場合がある。
- ・審査員は専門職を加えた5名程度とする。
- ・審査基準に従い、1点刻みの100点法で採点する。
- ・集計は5人の得点合計で順位を決定する。ただし同得点の場合は専門職の得点の高い方を上位とする。
- ・ただし、部門において、出品作品が少ない場合は審査員の合議により順位を決定することができる。

6. 全部門共通

(1) 規定違反について

審査を公平に行うために下記のような処置を行う。（減点は合計点について）

- ・テーマに沿っていない・・・・・・・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・著作権等の処理の不備・・・・・・・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・不適切な表現方法（映像・音声）・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・提出期限に間に合わない・・・・・・・・・・失格
- ・再生不能・・・・・・・・・・・・・・・・・・失格
- ・申込と大会当日のタイトルが違う・・・・失格もしくは減点
- ・その他、大会後においても、上記規定違反の他、重大な違反が判明した場合には賞の取り消しをすることがある。

(2) 入賞者決定の手順について

- ・集計係の役員審査員が運営役員と共に得点を入力し、タイムの超過や規定違反の確認をしたうえで、順位を決定し、審査員全員に周知確認し、部長に報告し決定する。
- ・氏名やタイトルの誤りが無いかを確認の上、表彰の発表を行う。

以上

【Q K 杯参加申込用紙・記入例】

第38回新潟県高等学校放送コンクール 兼 第45回QK杯校内放送コンクール 参加申込書						
この様式を入力し、データを大会当番校担当者へE-mailで送る。さらに、印刷されたものを大会当日迄に提出してください。						
学校名						
校長名						
記載者						
アナウンス部門	予選録音順番	学校名 (自動表示)	学年	氏 名	よみがな	アナウンス原稿タイトル
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
20						
朗読部門	予選録音順番	学校名 (自動表示)	学年	氏 名	よみがな	作品(番号を入力)
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
20						
ラジオ番組	番	学校名 (自動表示)	タイトル(全角15文字以内)			よみがな
	1					
	2					
テレビ番組	番	学校名 (自動表示)	タイトル(全角15文字以内)			よみがな
	1					
	2					
引率者名	学校名 (自動表示)	氏 名	よみがな	昼食弁当の希望 (¥1,000程度)	交流会参加希望	
1					外部合戦参加希望	
2					ケーブル巻合戦参加希望	
3					大会当日の来場予定人数	
4					生徒・教員・見学のおよその数	

第38回新潟県高等学校放送コンクール 兼 第45回QK杯校内放送コンクール 参加申込書

この様式を入力し、データを大会当番校担当者へE-mailで送る。さらに、印刷されたものを大会当日迄に提出してください。

学校 新潟県立越後高等学校									
校長 新岡 一郎									
記載者 長岡 花子									
学年を入力すると、自動的に表示されます。									
校長印の押印は不要ですが、必ず校内での決裁・出場の承認を得てください。									
記入例と記入上の注意									
アナウンス部門									
予選録音順番 学校名 (自動表示) 学年 氏 名 よみがな アナウンス原稿タイトル									
1 新潟県立越後高等学校 1 有安川 杏果 ありやすかわ ももか 田舎ってサイコー！									
2 新潟県立越後高等学校 2 玉井田 詩織 たまいだし おり 稲穂の実り									
3 新潟県立越後高等学校 2 百田原 夏菜子 ももたわら かなこ 夕日の輝く時に									
4									
5									
予選録音の順番と、表の順番を一致させてください。									
16									
17									
18									
19									
20									
予選録音の順番と、表の順番を一致させてください。									
NH-K杯とは違い、北信越大会・全国総文では、タイトルが必要です。									
SAMPLE <大会参加申込書記入例> ダウンロードしてご使用ください。									
朗読部門									
予選録音順番 学校名 (自動表示) 学年 氏 名 よみがな 番号 朗読課題作品(番号を入力)									
1 新潟県立越後高等学校 1 佐々森 彩夏 ささもり あやか 1 公園通りのクロエ									
2 新潟県立越後高等学校 1 高城岡 れに たかぎおか れに 2 世阿弥最後の花									
3 新潟県立越後高等学校 2 早川 あかり はやかわ あかり 3 新潟県に緑の作家・作品 ※右に書名・作品名を記入 信濃川ちくま「川の流れに逆らって」									
4 新潟県立越後高等学校 2 柏木 幸奈 かしわき ゆきな 3 新潟県に緑の作家・作品 ※右に書名・作品名を記入 琵琶湖京子「えちご雪国街道物語」									
5									
作品番号のみを入力してください。作品名は自動で表示されます。									
予選録音の順番と、表の順番を一致させてください。									
16									
17									
18									
19									
作品番号3の場合は、著者名と書名を入力してください。									
タイトルを入力すると、自動的に表示されます。									
ラジオ番組									
番 学校名 (自動表示) タイトル(全角15文字以内) よみがな									
1 新潟県立越後高等学校 行くぜっ！解と少女 いくぜ！かいしょうじょ									
2 新潟県立越後高等学校 チャイム・マックス！ ちやいむ・まっくす									
テレビ番組									
番 学校名 (自動表示) タイトル(全角15文字以内) よみがな									
1 新潟県立越後高等学校 宿題が終わらない・・・ しゅくだいがおわらない									
2 新潟県立越後高等学校 走れ！走れ！走れ！ はしれ はしれ はしれ									
交流会の参加希望の有無を選択してください。									
引率者名 学校名 (自動表示) 氏 名 よみがな 昼食弁当の希望 (¥1,000程度) 交流会参加希望									
1 新潟県立越後高等学校 川上 明 かわかみ あきら 有り 外部会戦参加希望 参加希望する									
2 新潟県立越後高等学校 古山 友美 ふるやま ともしも 無し ケーブル巻合戦参加希望 参加希望する									
3 大会当日の来場予定人数									
4 生徒・教員・見学のおよその数 15									
エントリー数 氏名を入力すると、自動的に表示されます。									
※欄が足りない場合は、このシートを複数枚提出してください。									
※このシートは、行や列の削除はできません。									
※各校の来場予定人数をお知らせください。準備のための目安を得るためのものです。当日の数値があっても事後申告は不要です。									
※大会参加料は、申込みの時点で確定します。読み分分野で予選不通過の場合や、番組分野で棄権の場合でも納入してください。									
※参加料と合計金額が自動で計算されます。									
部門 人数 参加料									
アナウンス 3 ¥3,000									
朗読 4 ¥4,000									
ラジオ番組 2 ¥4,000									
テレビ番組 2 ¥4,000									
引率者人数 2 ¥15,000									

SAMPLE

＜アナウンス・朗読部門原稿用紙＞
ダウンロードしてご使用ください。

ダウンロードしてご使用ください。

第 45 回 Q K 杯校内放送コンクール兼第 38 回新潟県高等学校放送コンクールに於ける

感染症拡大防止に関する基本方針

➤ 来場される皆さんへ

基本的な感染対策をお願いします。特定の具体的なお願いは以下の通りですが、来場される方は自主的なご判断で感染症対策をお願いいたします。

1. 参加校へのお願い

(ア) 参加校は「参加者名簿」を作成し、大会当日に受付で提出してください。

(イ) 「参加者名簿」の様式は、放送専門部のHPからダウンロードしてください。

令和 7 年度 第39回新潟県高等学校総合文化祭参加者名簿					
部 門 名	放 送 部 門				
期 日	11月 9 日 (日)				
	9 : 00 から 17 : 00 まで				
会 場	新潟明訓高等学校				
交 通 手 段					
高 校 名		高等学校	部 活 名 等		
※参加する生徒・教員の氏名を記載してください。保護者などの見学者は除きます。 ※事前準備として参加予定者を記載しておき、当日欠席の場合は二本線で消すなどしていただ いて結構です。 ※印刷したものを、大会当日の受付で提出してください。					
番	氏 名	学年・職	番	氏 名	学年・職
1			16		
2			17		

SAMPLE

ダウンロードしてご使用ください。

2. 観覧者へのお願い

(ア) 発表の見学・観覧ができます。

(イ) 受付での名簿への氏名の記載をお願いします。

令和 7 年度 第39回新潟県高等学校総合文化祭参加者名簿 (観覧者等用)				
部 門 名	放 送 部 門			
期 日	11月 9 日 (日)			
	9 : 00 から 17 : 00 まで			
会 場	新潟明訓高等学校			
※記載されたものは厳重に管理し、1か月保存の後に、適切に廃棄します。 ※記載された情報は、今大会でのみ使用します。				
番	氏 名	目的	学校名・所属先、等	備考
1		観覧・取材		
2		観覧・取材		

SAMPLE

当日受付で用意していますので、
ご記入のご協力をお願いします

コンクールでの個人情報の取り扱いについて

I. 利用目的

コンクールで収集した個人情報については下記の目的に使用する。

- ①参加校との連絡などコンクールの実施・運営
- ②主催者が行う放送（国内・海外）
- ③主催者が行うWeb 等での映像配信サービス
- ④主催者が行うイベントでの上映・Web サイト・印刷物への掲載
- ⑤大会入賞者氏名・入賞校名については主催者が管理するWeb サイト上に無期限で掲載

II. 共同利用について

コンクールで収集した個人情報については、主催者である新潟県高等学校文化連盟とNHK新潟放送局及び、共催する新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会で共同利用する。

（1）共同して利用される個人データの項目

- ・生徒の氏名、学校名、学年、写真
- ・顧問の氏名、学校名、電話番号、FAX 番号、メールアドレス
- ・コンクールの主催者が委嘱する担当者・審査員の氏名、学校名、電話番号、FAX 番号、メールアドレス

（2）共同して利用する者の範囲

新潟県高等学校文化連盟、NHK新潟放送局、新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会

（3）管理責任者

新潟県高等学校文化連盟、NHK新潟放送局、新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会

以上

第10回新潟県「外郎合戦」・第5回新潟県「ケーブル巻合戦」

発声練習メニューの定番「外郎売りの口上」を学校対抗で競いませんか？

技術系部員の必須技術「ケーブル巻合戦」も開催します。

QK杯当日、閉会式前の時間を使って、各校対抗で日頃の技術を競います。

要領は下記の通りです。奮ってご参加ください。栄冠はどこの学校に！？

【合戦要領】

参加資格：①QK杯のいずれかの部門に参加している学校であること。

外郎合戦・ケーブル巻合戦だけでの参加は不可。

②3年生も出場可。

【参加形態】

「外郎合戦」①出場校1校につき1チームのみのエントリー

②1チームは1名以上5名以内で構成

③参加費は無料。

「ケーブル」①出場校1校につき1チームのみのエントリー

②1チームは1名以上3名以内で構成

③参加費は無料。

【ルール】

「外郎合戦」

出演時間：5分程度（5分以内が望ましい）

合戦方法：①「拙者、親方と申すは」から「外郎はいらっしゃりませぬか。」までを、
各チームで発表する。

②1人で全部でも、リレーで分担しても良い。

③マイクは使わない。生声で勝負する。

④演出などは各校チームに任せます。

ただし、準備に時間がかかるものや、公序良俗に反するものは、

発表前または発表中でも即刻発表を中止させる。

⑤審査員は、読みの部門の審査員及び会場の観客にも審査してもらう。

「ケーブル」

合戦方法：①巻くケーブルは、大会事務局が準備したもの。（電源ケーブル）

②巻く作業を3回行い、その早さと、きれいな巻を競う。

③参加者が3人に満たないチームは、一人が複数回作業しても良い。

【その他】

粗品進呈：優秀チームには粗品を進呈。

申込方法：大会の参加申込用紙の「交流会参加希望」欄に記入。

問合せ先：中越高等学校 放送部顧問 教諭 高澤 晃

tel.0258-24-0203

E-mail:housou@chuetsu-h.ed.jp

以上

[illegible]